



WILD BIRD SOCIETY OF JAPAN・SAITAMA

# しらこぼと

## 2016.12

No.392

日本野鳥の会 埼玉

S H I R A K O B A T O



# 2016年秋 タカ渡り調査結果

日本野鳥の会埼玉 研究部

## ● 研究部主催の調査から

研究部では毎年9月に、会員の皆様と共にサシバ、ハチクマなどのタカの渡り調査を行っています。今回は、9月25日(日)に天覧山(飯能市、担当：鈴木秀治)で行いました。9月19日(月・祝、予備日は20日)に予定されていた中間平(寄居町、担当：千島康幸)は、当日、予備日も降雨のため中止としました。天覧山の調査結果を下の表に示しました。調査には担当を含め21名の方々にご協力いただきました(参加者名は3月号に掲載)。皆様、ありがとうございました。

観察場所	天候	時間	観察された個体数(*)		その他のタカ類(*)	参加者
			サシバ	ハチクマ		
天覧山展望台(飯能市飯能)	曇量 2~5	8:00-12:50	104	1	ツミ1、オオタカ1、ノスリ2	21名

\*: 渡らなかった個体数を除く

## ☆ 調査報告・天覧山(ふじみ野市 鈴木秀治)

頂上到着時の朝には西側の眺望が開け山脈や富士山も良く見えるが、東側は雲と霧の中で都心もスカイツリーも見えず。時間が経つにつれ北西の風が東南東に変わり曇量も増してくる。風量は弱く、少しずつ蒸し暑さがやって来る。大勢の観察者や登山者が登頂し展望台は人で溢れている。四方を見る目が多く、渡りのタカを次々と見つけ、タカ柱にくぎ付けになった。終了頃には湧き上がるようなタカの群れを遠望し満足できる一日となった。

## ● 2016年秋・県内各地のタカ渡り状況

研究部主催の調査とは別に県内各所で、多くの会員の皆様、あるいは当会以外の団体がシーズン中、頻りにタカの渡り観察を行っています。ほぼ毎日、観察が続けられている天覧山と中間平を始め、県内のあちこちで、多くの方が空を見上げたことでしょう。

昨年からは当会のホームページでは、県内で確認されたタカの渡りの情報を募集しておりますが、今年は投稿された情報を出来るだけ早く「速報」のかたちで、観察場所を示す地図とともに公開しました。渡ってゆくタカの数が増え、ゆく様子が見られるのがよかったです。昨年も投稿件数も観察地点も大幅に増え、7月から10月の4ヶ月の間に、県内の20か所でタカの渡りが報告されました(図1)。積算個体数は1280羽(研究部主催の調査結果を含む)、サシバ、ハチクマの他、ツミ、ノスリ、ハヤブサが観察されました。



図1 当会ホームページに投稿されたタカの渡り観察地点(◆)

次に特に観察回数の多かった県東部(蓮田市とその周辺)および中間平について、調査結果の詳細をお知らせします。

次に特に観察回数の多かった県東部(蓮田市とその周辺)および中間平について、調査結果の詳細をお知らせします。

## ☆ 県東部(蓮田市など)

期間中に蓮田市の西城沼公園で51羽(サシバ43羽、ツミ8羽)、黒浜沼周辺(蓮田市内7カ所とさいたま市岩

槻区2カ所)でサシバ80羽が観察されました。この地域の特徴は、サシバが現れるのが他の地域に比べて早いことですが、今年は特に早く、最も早い観察例は7月10日(西城沼公園)でした。8月1ヵ月間でサシバ32羽が観察されました。9月に入ると黒浜沼周辺では1日から3日に37羽(最高個体数20羽、9月2日)、西城沼公園では9日から17日の間に28羽(最高個体数13羽、9月11日)が記録されました(図2)。

この地域で8月半ばから9月初旬に見られるサシバは、上昇してもすぐに降下したり東や北へ戻ったり、というのが多く、西や南へ一気に飛んでゆくものはあまりいません。比較的近くで繁殖したものが、この地域のあちこちで休息と栄養補給をしながら、徐々に渡るべき方向へ進んでいるのかもしれない。(研究部)

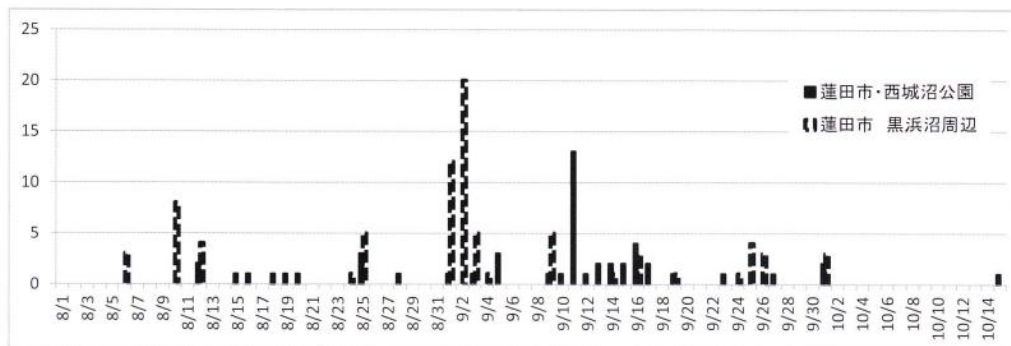


図2 県東部におけるタカの出現状況(8月1日から10月15日の結果を示した)

### ☆ 中間平(寄居町)

今年は8月21日から10月10日まで32日間観察を行いサシバ669羽、ハチクマ34羽の渡りを観察することができました。昨年は8月30日から10月7日まで30日間観察しサシバ247羽、ハチクマ22羽でした。サシバが2.7倍、ハチクマが1.55倍の増加でした。サシバは8月21日3羽、25日3羽、31日6羽と8月中から渡っていることが分かりました。10月中旬には、サシバは南西諸島から台湾、フィリピン、ハチクマは中国南部、タイあたりまで到達しているものもいることでしょう。

今年は台風や秋雨前線の停滞により雨の日が多く、9月の1ヵ月間で調査できたのは20回でした。渡りの多い日は、昨年は①15日87羽、②19日52羽、③14日22羽でした。今年は9月15日から20日までの間で3日間雨だったためピークが遅れ、①30日215羽、②25日139羽、③21日99羽でした。

渡ってくる時間帯は、2014年では①12時台28%、②10時台26%、③11時台23%で、2015年も同様でした。今年は①8時台と9時台がともに23%、②10時台17%、③7時台15%でした。例年より早くなった理由は天候にあると思われます。群馬県、栃木県、福島県から飛来していると思われますが、天候が悪く長い距離を移動できないことから11時以降の渡りが減少したのでしょうか。

出現したものの渡らなかつたサシバの個体数(中間平に滞在する個体、非渡り)をみると、昨年は9月23日までに110羽、今年は同日までに44羽と減少しました。非渡りのサシバが減少した原因は不明です。特に目立って環境は変化していません。

サシバやハチクマ以外に、オオタカ、ハイタカ、ツミ、ノスリ、トビ、ハヤブサ、チゴハヤブサ、チョウゲンボウ、ミサゴが観察できました。

渡りのサシバの観察数を今年と昨年を比較すると、中間平では前述したように2.7倍の増加です。また、公開された記録では天覧山は2.15倍、青梅市羽村市は1.24倍と増加しましたが、白樺岬は0.55倍と大幅に減少しました。杉尾山(静岡県)は1.69倍、伊良湖岬は0.99倍、金

華山は1.12倍、猪子山（滋賀県）は1.15倍になっています。この結果をみると、天候等の関係で新潟県から長野県を通過するサシバが減少し、東北から関東を通過するサシバが増加したようです。今年だけなのか来年以降の動向を注目したいと思います。

サシバの越冬地であるフィリピンのルソン島北部で、昨年春の渡りの時期に、集結したサシバが3500～5000羽密猟されたそうです。渡っていったサシバが無事に戻り中間平で再会できることを願っています。（小川町 千島康幸）

図3に中間平および天覧山におけるタカの出現状況を示しました（研究部）。天覧山のデータは「天覧山タカ渡り観察グループ」がウェブサイト『Hawk Migration Network of Japan』で公開した記録を使用させていただきました。例年、中間平のピークは天覧山よりやや早めになりますが、今年はいずれも9月30日が“サシバ・デー”となりました。前述のように天候不順の影響によるものと思われます。

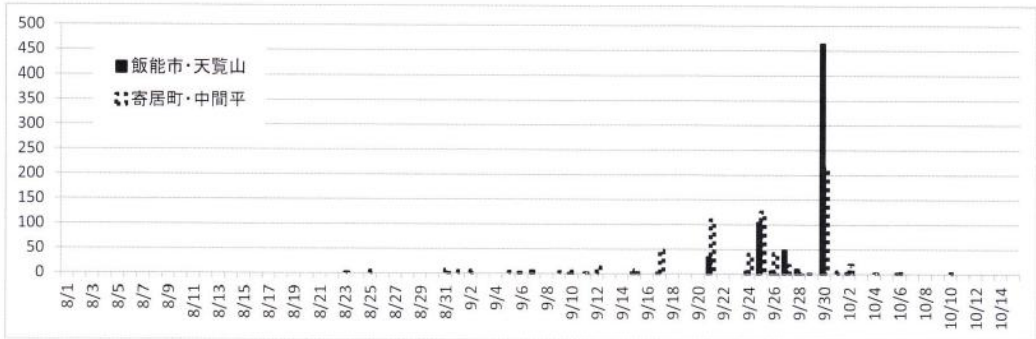


図3 天覧山および中間平におけるタカの出現状況(8月1日から10月15日の結果を示した)

### ☆ その他の観察情報

ホームページに投稿された県内のその他の情報を表1に示しました。観察日には「東早西遅」の傾向が見られるようです。

中間平、天覧山でピークとなった9月30日には所沢市北野でも多数のサシバが観察されました。この日は八王子市や青梅市など東京西部の各地で数百羽から多いところでは千羽を超えるサシバが観察されました。

さいたま市見沼区加田屋	8月23日 サシバ2羽/8月29日 サシバ1羽
さいたま市緑区南部領辻	9月9日 サシバ1羽
さいたま市緑区民家園	10月2日 サシバ2羽
ふじみ野市上野台	9月10日 サシバ1羽
吉見町総合運動公園	9月12日 サシバ1羽
上尾市丸山公園	9月29日 サシバ7羽
所沢市北野	9月30日 サシバ242羽
小川町東小川	9月23日 サシバ1羽
長瀨町糠掃峠	9月10日 サシバ3羽、ハチクマ2羽/9月17日 サシバ3羽/9月25日 サシバ57羽、ハチクマ 1羽/10月1日 サシバ17羽、ハヤブサ1羽 /10 月2日 サシバ18羽、ハチクマ、ハヤブサ、ツミ、 ノスリ各1羽

<謝辞>天覧山のデータは「天覧山タカ渡り観察グループ」代表・市川和男氏のご厚意により使用させていただきました。中間平のデータは石松康幸氏、中村博文氏が行った調査結果も使用させていただきました。ホームページには井上幹男氏、大内隆氏、大塚隆廣氏、近藤龍哉氏、佐野和宏氏、須崎聡氏、鈴木秀治氏、関口明宏氏、田中幸男氏、中島康夫氏、長嶋宏之氏、宮下茂樹氏にご投稿いただきました。皆様に心より御礼申し上げます。

表1 県内各地のタカ観察情報



## 野鳥情報

**川島町紫竹** ◇7月25日、コチドリ1羽、イソシギ1羽、セイタカシギ成鳥2羽、幼鳥4羽。8月3日、コチドリ20羽、クサシギ1羽、トウネン2羽。8月14日、イカルチドリ1羽、コチドリ30羽、ムナグロ1羽、タカブシギ2羽、オジロトウネン夏羽1羽（小林みどり）。

**春日部市倉常** ◇7月28日、コチドリ1羽、クサシギ1羽、イソシギ1羽。8月13日、コチドリ20羽、イソシギ1羽（小林みどり）。◇8月7日、ムナグロ2羽、コチドリ71羽、クサシギ1羽、イソシギ2羽。いよいよシギ・チドリのシーズン到来か（佐野和宏）。◇8月18日、畑の地面で休むムナグロ11羽。水を張った休耕田でイソシギ1羽、クサシギ1羽、コチドリ約30羽（鈴木紀雄）。◇8月31日午後2時20分～2時35分、2カ所の湛水田と周辺の刈り田を見て回ったが、シギは皆無。アオサギ、ダイサギ、チュウサギ、コサギ、アマサギが群れて採食していた（石川敏男）。

**蓮田市西城沼公園周辺** ◇8月2日、農家の庭から飛び立ったハシブトガラスが鶏の卵をくわえていた。8月8日、数羽のカワラヒワが電線で囀っていた。1羽がヒマワリ畑に、続いてまた1羽。咲き終わったヒマワリの種の出来具合を調べるかのように覗きまわっていた。8月9日、屋敷林の上空をツミが旋回。小鳥を狙っていたようだ。8月12日、サシバ2羽、屋敷林の上空を旋回。1羽の羽はボロボロだった。8月15日、サシバ1羽、屋敷林のカシの木の天辺にとまった。成鳥早のようだった。8月16日、サシバ2羽、林の枯れ木にとまった。カラスに追われて南に飛び去った。8月18日、サシバ1羽、林の枯れ木の天辺にとまった。カラス2羽に追われて屋敷林に逃げ込んだ。この林はカラスの薮だ。8月19日、サシバ1羽、背の高い木の天辺にとまっていた。8月20日、サシバ2羽がハシブトガラス4～5羽と同時に旋回。ツミ1羽が現れて、

サシバとカラスに急降下のアタックを繰り返した。2羽のサシバは南に飛び去った。

8月25日、サシバ1羽が背の高い木の天辺にとまっていたが、数羽のカラスに追われて飛び立った。続いて近くの林から2羽のサシバが飛び立ち3羽で旋回後、屋敷林に飛び込んだ。8月28日、サシバ1羽が屋敷林の一際高いヒノキの天辺にとまっていた（下写真）。ハシブトガラス2羽に攻撃され屋敷林に逃げ込んだ。電信柱から飛び立ったアブラゼミをハシブトガラスが空中で捕えた（長嶋宏之）。



**蓮田市黒浜沼** ◇8月6日、蓮田市環境学習館バードウォッチングの折、上沼で新人さん3人に双眼鏡の使い方を説明していたとき、オオタカ成鳥が真上を飛翔。先を歩くグループではサシバ成鳥3羽の飛翔を観察。今季初認で、今年も黒浜沼周辺が渡りのルートになっていることが確認できた（田中幸男）。

**川越市南古谷** ◇8月11日、水の入った休耕田にアカエリヒレアシシギ1羽。その近くの休耕田にコチドリ15羽、ムナグロ1羽（今村富士子）。

**さいたま市大宮区** ◇8月11日午後7時過ぎ、大宮図書館付近の氷川参道の木でアオバズクが鳴いていた（森本國夫）。

**さいたま市中央区八王子5丁目** ◇8月15日、かやのき団地20号棟横の桜の枝にツミ幼鳥1羽。素早く身をひるがえして飛び去った（大塚純子）。

### 表紙の写真

#### スズメ目ヒタキ科キビタキ属ムギマキ

10月22～23日の戸隠探鳥会で、初めてムギマキを見る事が出来ました。

佐藤久志(狭山市)



## 行事案内



コジュケイ(編集部)

「要予約」と記載してあるもの以外、予約申し込みの必要はありません。集合時間に集合場所にお出かけください。初めての方は、青い腕章の担当者に「初めて参加します」と声をおかけください。参加者名簿に住所・氏名を記入、参加費を支払い、鳥のチェックリストを受け取ってください。鳥が見えたらリーダーたちが望遠鏡で見せてくれます。体調を整えてご参加ください。

参加費：中学生以下無料、会員100円、一般200円。

持ち物：筆記用具、雨具、昼食、ゴミ袋。持っていれば、双眼鏡などの観察用具もご用意ください。なくても大丈夫です。

解散時刻：特に記載のない場合正午から午後1時ごろ。

悪天候の場合は中止、小雨決行です。できるだけ電車バスなどの公共交通機関を使って、集合場所までお出かけください。間際に時刻表が変更される場合もあります。ご注意をお願いします。

### 所沢市・狭山湖探鳥会

期日：12月3日(土)

集合：午前9時30分、西武狭山湖線西武球場前駅前。

担当：石光、久保田、小林(ま)、鈴木(秀)、長谷部、水谷、持丸

見どころ：今年も狭山湖が皆様の鳥心を誘う時節となりました。遥々渡ってきたカンムリカイツブリ等の鳥たちが待っています。シーズン初めは珍客との出会いにも期待が高まります。

### 北本市・石戸宿定例探鳥会

期日：12月4日(日)

集合：午前9時、北本自然観察公園学習センター玄関前広場。

交通：JR高崎線 北本駅西口から、北里メディカルセンター病院行きバス8:36発で「自然観察公園前」下車。

担当：吉原(俊)、相原(友)、秋葉、浅見(徹)、大坂、大畑、岡安、近藤、柴田、立岩、飛田、内藤、永野、村上、山野、吉原(早)

見どころ：昨年12月は27種とやや少ない感じでしたが、ジョウビタキ、カワセミ、ノスリ、ハイタカ、チョウゲンボウ、ツグミ、シメなど、全員でじっくり観察することができました。葉が落ちて見やすくなった石戸宿の森で、鳥を探しましょう！

### さいたま市・民家園周辺定例探鳥会

期日：12月4日(日)

集合：午前9時、浦和くらしの博物館民家園駐車場、念仏橋バス停前。

交通：JR浦和駅東口①番バス乗り場から、東川口駅北口行き8:37発で「念仏橋」下車。

担当：須崎、赤堀、伊藤、大井、高崎、手塚、野口(修)、藤田、若林

見どころ：芝川第一調節池は1年で一番にぎやかな時季になります。今年もカモ類・猛禽類を中心に観察します。ハクチョウも期待します。

ご注意：①途中トイレがありません。②強風等天候によってはコースを変更します。



昨年12月8日 民家園周辺探鳥会

### 加須市・加須はなさき公園探鳥会

期日：12月4日(日)

集合：午前8時40分、東武伊勢崎線 花崎駅南口階段下。集合後徒歩で現地へ。または午前9時、加須はなさき公園管理事務所前。  
交通：東武伊勢崎線 春日部8:14→久喜8:27→花崎8:34。JR宇都宮線大宮7:53→久喜8:15で東武伊勢崎線乗り換え。  
共催：加須はなさき公園管理事務所  
担当：長嶋、相原(修)、石川、菊川、竹山、星野、茂木、渡邊  
見どころ：冬鳥たちも居場所を定めて、旅の疲れを癒していることと思います。そんな小鳥たちを青毛掘川～公園内で探します。

### さいたま市・岩槻文化公園探鳥会

期日：12月10日(土)  
集合：午前8時35分、岩槻駅東口前。または、午前9時10分、文化公園国道16号側駐車場。  
交通：東武アーバンパーク線 大宮8:17発、または春日部8:14発で岩槻下車。集合後バスで現地へ。  
担当：長野、石川、内田、榎本(建)、菊川、鈴木(誠)、鈴木(庸)、玉井、長嶋、野村(弘)、藤原、吉安  
見どころ：昨年12月には猛禽類や小鳥類を中心に36種を確認しました。トイレが完備された公園内や平坦な元荒川沿いの道をゆっくり歩いて観察します。初心者、大歓迎。

### 熊谷市・大麻生定例探鳥会

期日：12月11日(日)  
集合：午前9時30分、秩父鉄道 大麻生駅前。  
交通：秩父鉄道 熊谷9:09発、または寄居8:50発に乗車。  
担当：茂木、新井、鶴飼、倉崎、田島、千島、飛田、中川、村上  
見どころ：冬鳥が元気になり、それを空から猛禽が狙いをつけている。カシラダカ、ジョウビタキ、アトリはレギュラーだけれどトラツグミ、ベニマシコたちもそろそろ出て来てくれるでしょう。

### 加須市・渡良瀬遊水地探鳥会(平日)

期日：12月14日(水)

集合：午前8時10分、東武日光線 柳生駅前。または午前8時30分、中央エントランス駐車場。  
交通：東武日光線 新越谷7:21発、南栗橋7:52で新栃木行きに乗り換え柳生8:06着。またはJR宇都宮線 大宮7:13→(久喜乗り換え)栗橋7:38着で7:57発の東武日光線に乗り換え。  
解散：正午ころ、谷中村史跡ゾーン広場。  
担当：玉井、相原(修)、植平、大坂、楠見、藤澤、渡邊  
見どころ：冬の渡良瀬はたくさんのカモ類に加えてアイサ類、カイツブリ類が見られます。そして上空のタカ類、道沿いで見られるベニマシコをはじめとする小鳥達。多彩な鳥達を静かな平日に満喫します。

### 滑川町・武蔵丘陵森林公園探鳥会

期日：12月17日(土)  
集合：午前9時20分、森林公園南入口前広場  
交通：東武東上線森林公園駅北口から熊谷駅南口行きバス9:00発で「滑川中学校」下車。ひとつ手前の「森林公園南口入口」は通過してください。下車後、歩道橋を渡り徒歩で少し戻ります。  
費用：参加費以外に入園料410円(子供80円)、65歳以上210円(要年齢を確認できるもの)。  
担当：鈴木(秀)、大坂、大畑、岡安、佐久間、内藤、中村(豊)、藤掛、藤澤、松下  
見どころ：南口から中央橋を越えて山田大沼まで歩きます。葉が落ちた木々の間を飛び交う小鳥を見つけやすく、水面に浮かぶカモ類が多くなる季節です。ジョウビタキやマガモ・コガモは到着しています。さて、どれだけの冬鳥に会えるでしょうか、楽しみです。

### 『しらこぼと』袋づめの会

とき：12月17日(土) 午後3時～4時ころ  
会場：会事務局108号室

埼玉 Young 探鳥会  
戸田市・彩湖道満グリーンパーク  
共催：日本野鳥の会東京、協賛：興和光学(株)

期日：12月18日(日)  
集合：午前9時30分、彩湖北側無料駐車場付

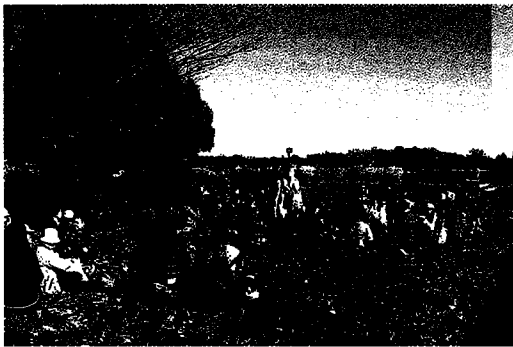
近(JR西浦和駅から徒歩20分)。または午前8時30分、浦和駅西口、集合後路線バスで現地へ。

交通：浦和駅西口⑤番バス乗場から**志01**県庁前・中浦和駅経由志木駅東口行きで「さくら草公園」下車。

担当：廣田、石塚(敬)、石塚(真)、佐野、島崎、高崎、野口(修)、菱沼(一)

見どころ：昨年と同探鳥会にて始まった埼玉 Young 探鳥会も今回で丸1年！ 東京支部との共催でカモ類・カイツブリ類・冬の小鳥たちを楽しみましょう！ 気持ち Young な皆様のお越しをお待ちしております。また、初心者・ご家族連れ大歓迎です！

ご注意：集合場所が通常と異なります。お昼をはさんで13:30ころ解散予定です。お弁当をご持参下さい。興和光学(株)からの最新双眼鏡貸出があります(貸出数に限りあり)。



昨年12月9日 彩湖探鳥会

### さいたま市・三室地区定例探鳥会

期日：12月18日(日)

集合：午前8時15分、京浜東北線 北浦和駅東口、集合後路線バスで現地へ(ご注意：案内人は8時過ぎに北浦和駅東口到着予定です)。または午前9時、さいたま市立浦和博物館前。

後援：さいたま市立浦和博物館

担当：浅見(徹)、青木、赤堀、浅見(健)、楠見、小菅、小林(み)、須崎、新部、畠山、増田

見どころ：三室定例探鳥会、今年の締めくくりです。芝川でカモの仲間やサギの仲間。

畑やたんぼでツグミ、ジョウビタキにセキレイの仲間を探します。おっと、上空にも注意。オオタカやチョウゲンボウが飛んでいますよ！

### 年末講演会

日時：12月23日(金・祝)午後1時開場

会場：浦和コミュニティセンター9階第15集会室、JR浦和駅東口前PARCOの9階。

プログラム：第1部13:30~14:45 会員たちの『映像で振り返るこの1年』他。

第2部15:00~16:30 講演 NPO法人オオタカ保護基金代表・日本オオタカネットワーク代表 遠藤孝一氏『オオタカの生態と保全〜希少種解除はあるのか?』。

第3部17:15~19:30 懇親会(ワシントンホテル)。

参加費：100円(懇親会は5,000円の予定)。

見どころ&聞きどころ：栃木県那須野ヶ原で長年行われてきた調査をもとに、個体群の動態、行動圏や環境利用などオオタカの生態についてお話しいたします。加えて、最近話題の種の保存法の希少種解除の課題についてもまとめていただきます。

◆ 第1部の映像・画像を募集中です。あなたの傑作をビデオ、スライドショーは3~5分程度に編集、スライドは12枚程度でお申し込みください。映像・画像、懇親会の申込みは葉書またはメールで長野誠治、

まで。

### 幸手市・宇和田公園探鳥会

期日：12月25日(日)

集合：午前9時20分、宇和田公園駐車場。

交通：東武伊勢崎線東武動物公園駅東口から境車庫行きバス8:45発で「上宇和田」下車。

北方向に徒歩5分。

担当：佐野、植平、佐藤、竹山、田邊

見どころ：今年も年内最後の探鳥会になります。締めくくりにあらためて身近な冬鳥を探しましょう。シラコバトが観られれば、いい年越しができるかも？



## 2017年1月～4月の行事予定

探鳥計画を立てるのにご利用ください。変更されることもありますので、確定情報は、会誌『しらこぼと』の行事案内でご確認ください。

月	日	曜日	探鳥地など	
1	4	水	さいたま市 さぎ山記念公園	
	7	土	さいたま市 彩湖	
	7	土	千葉県 ふなばし三番瀬海浜公園	
	8	日	熊谷市 大麻生 [定例]	
	8	日	松伏町 まつぶし緑の丘公園	
	9	祝月	滑川町 武蔵丘陵森林公園	
	9	祝月	さいたま市 民家園周辺 *	
	9	祝月	春日部市 内牧公園	
	14	土	深谷市 仙元山公園	
	15	日	さいたま市 三室地区 [定例]	
	15	日	加須市 渡良瀬遊水地	
	19	木	久喜市 久喜菖蒲公園 (平日)	
	21	土	加須市 渡良瀬遊水地 Young	
	22	日	狭山市 入間川 [定例]	
	22	日	長瀨町 長瀨	
	22	日	蓮田市 黒浜沼	
	24	火	滑川町 武蔵丘陵森林公園 (平日)	
	26	木	羽生市 羽生水郷公園 (平日)	
	28-29	土-日	リーダー懇親会	
2	2	木	さいたま市 彩湖 (平日)	
	4	土	狭山市 智光山公園	
	4	土	嵐山町 菅谷館都幾川	
	5	日	さいたま市 民家園周辺 [定例]	
	5	日	北本市 石戸宿 [定例] *	
	11	祝土	さいたま市 大宮市民の森	
	11	祝土	滑川町 武蔵丘陵森林公園	
	12	日	熊谷市 大麻生 [定例]	
	12	日	所沢市 狭山湖	
	18	土	上尾市 丸山公園	
	18	土	さいたま市 芝川第一調節池 Young	
	19	日	さいたま市 三室地区 [定例]	
	19	日	志木市 柳瀬川	
	25	土	さいたま市 岩槻文化公園	
	25	土	東京都 葛西臨海公園 Ladies'	
	26	日	本庄市 坂東大橋	
	26	日	群馬県 小根山森林公園	
	3	4	土	行田市 さきたま古墳公園
		5	日	蓮田市 黒浜沼
5		日	寄居町 玉淀河原	
7		火	滑川町 武蔵丘陵森林公園 (平日)	
11		土	戸田市 彩湖	
12		日	熊谷市 大麻生 [定例]	

3	18	土	加須市 加須はなさき公園
	18	土	さいたま市 見沼自然公園 *
	19	日	さいたま市 三室地区 [定例]
	19	日	松伏町 松伏記念公園
	20	祝月	坂戸市 高麗川
	20	祝月	栃木県 日光東照宮裏山
	23	木	羽生市 羽生水郷公園 (平日)
	25	土	秩父市 秩父ミュージズパーク
	26	日	狭山市 入間川 [定例]
	26	日	加須市 渡良瀬遊水地
4	1	土	写真撮影会
	2	日	北本市 石戸宿 [定例]
	2	日	さいたま市 民家園周辺 [定例]
	8	土	所沢市 狭山湖
	9	日	熊谷市 大麻生 [定例]
	9	日	長瀨町 宝登山
	9	日	東京都 多摩動物公園 (要予約)
	16	日	さいたま市 三室地区 [定例]
	16	日	春日部市 内牧公園
	21-23	金-日	東京都 三宅島 (要予約)
5	22	土	さいたま市 秋ヶ瀬公園 Young
	26	水	さいたま市 秋ヶ瀬公園 (平日) *
	29	祝土	シギ・チドリ類調査 (さいたま市)
	29	祝土	栃木県 小倉山森林公園
	7	日	入間市 さいたま緑の森博物館 (要予約)
	27-28	土-日	長野県 戸隠高原 (要予約)

\*印: 独立した「ビギナー探鳥会」を同時に開催

## 1月～4月「たくさん見える!」予報

2012～2016年の1月から4月の探鳥会で見られた野鳥は、県内で142種でした。今回は趣向を変えて、多種を見たい人のために、5年間の月ごとの出現鳥種数が多い順に探鳥会を並べてみました。

	1月	2月	3月	4月
1	渡良瀬	民家園	玉淀河原	秋ヶ瀬
2	彩湖	菅谷館	さきたま古墳	大麻生
3	羽生水郷	森林公園	入間川	民家園
4	森林公園	彩湖	渡良瀬	狭山湖
5	長瀨	坂東大橋	大麻生	石戸宿
6	入間川	石戸宿	高麗川	内牧公園
7	大麻生	市民の森	松伏記念	三室
8	三室	(利根大堰)	三室	宝登山
9	さぎ山	岩槻文化	見沼自然	(物見山)
10	緑の丘	三室	黒浜沼	—
	64～49種	63～51種	58～47種	62～38種

括弧付き: 今回は設定されていない探鳥会



## 行事報告

5月22日(日) 川越市 伊佐沼 写真撮影会

参加：22名 天気：晴

日本野鳥の会 埼玉としては初の試み「写真撮影会」。日本野鳥の会本部との共催、Canon MJ 様の全面的なバックアップによる企画（最新機種の貸出し等）。野鳥写真家の叶内拓哉氏を講師に迎え、場所は注目のスポット「伊佐沼」。まずは叶内氏による講義、内容は技術的な事はもとより、鳥達の習性、撮影時のマナーにまで及ぶ大変興味深いお話……時間が足りない。続いて伊佐沼へ移動して貸出機材での撮影会。カイツブリ、オオヨシキリ、さらにはアオアシサギ、一瞬だがヨシゴイも飛翔、そしてお目当てのコアジサシ登場と、この時期にしては十分な被写体達にシャッター音が響き渡る。もちろん、すぐに「腕が上がる」訳ではないが、ご参加の皆様、それぞれのメモリーに様々な思い出が記録されたことでしょう。（石塚敬二郎）

5月22日(日) 狭山市 入間川

参加：44名 天気：快晴

キジ カルガモ カイツブリ キジバト カワウ ササゴイ アオサギ ヒメアマツバメ コチドリ トビ ツミ コゲラ オナガ ハシボソガラス ハシブトガラス ヤマガラ シジュウカラ ヒバリ ツバメ イワツバメ ヒヨドリ ウグイス オオヨシキリ ムクドリ スズメ ハクセキレイ セグロセキレイ カワラヒワ ホオジロ (29種) (番外：ドバト) 見どころは、ササゴイとオオヨシキリ。ササゴイは集合場所を低空で2度通過。しかし、河原ではあまりよく見られなかった。オオヨシキリも草が刈られて個体数が少なかった。残念な探鳥会になりそうなところを、コチドリのヒナに救われた。対岸に現れたかわいい姿に、みんな釘づけ。（長谷部謙二）

6月4日(土) 坂戸市 高麗川

参加：28名 天気：晴

キジ カルガモ カイツブリ キジバト カワウ アオサギ ダイサギ ホトトギス コチドリ オ

オタカ カワセミ コゲラ アオゲラ モズ ハシボソガラス ハシブトガラス シジュウカラ ツバメ ヒヨドリ ウグイス メジロ オオヨシキリ ムクドリ スズメ ハクセキレイ セグロセキレイ カワラヒワ ホオジロ (28種) (番外：ガビチョウ) 3月に続いて、多和田橋上流は工事で立ち入りが禁止されていて、全体の3分1ほどコースを歩けなかった。工事によって、草のない川原が出現し、遊歩道近くに砂利などが敷かれた所には、営巣のためと思われるコチドリが来ていた。城山付近ではオオタカが今回も姿を見せてくれた。この先、しばらくの間、遊歩道工事が続くが、今後、川辺の環境、野鳥たちの生息がどう変化していくのか見守っていきたい。（山口芳邦）

6月5日(日) 北本市 石戸宿

参加：36名 天気：曇

コジュケイ キジ カルガモ カイツブリ キジバト バン カワセミ コゲラ サンコウチョウ ハシボソガラス ハシブトガラス シジュウカラ ツバメ ヒヨドリ ウグイス エナガ メジロ オオヨシキリ キビタキ スズメ ホオジロ (21種) (番外：ガビチョウ) 声はすれども鳥はなかなか姿を見せない。かわせみ池近くでサンコウチョウの声を聞いた。センター前で他の観察会と遭遇。一夜堤への途中、枯れたヨシで轉るオオヨシキリ。北里の森からキビタキの声。東屋の手前でホオジロ。高尾の池でバン、八つ橋でカイツブリ。最後はニセアカシアで轉るオオヨシキリをじっくり観察。（吉原俊雄）

6月5日(日) さいたま市 民家園周辺

参加：25名 天気：曇

コジュケイ キジ ヒドリガモ カルガモ カイツブリ キジバト カワウ ヨシゴイ ゴイサギ アオサギ バン オオバン コアジサシ オオタカ カワセミ コゲラ チョウゲンボウ ハシボソガラス ハシブトガラス シジュウカラ ヒバリ ツバメ ヒヨドリ メジロ オオヨシキリ セッカ ムクドリ スズメ ハクセキレイ セグロセキレイ カワラヒワ ホオジロ (32種) (番外：ドバト) 調節池は新緑が眩しい。オオヨシキリ、ダイブするコアジサシなどこの季節の主役たちを見た。しかし、この地でカッコウの声を聞かなくなって久しい。寂しい限り。（手塚正義）

6月12日(日) 熊谷市 大麻生

参加: 42名 天気: 曇

コジュケイ キジ カルガモ カイツブリ キジバト アオサギ ホトトギス ツツドリ イカルチドリ コゲラ ハシボソガラス ハシブトガラス シジュウカラ ヒバリ ツバメ ヒヨドリ ウグイス メジロ オオヨシキリ ムクドリ スズメ カワラヒワ ホオジロ (23種) (番外: ガビチョウ) 蒸し暑い、少し風があるので助かる。ツバメ、ムクドリ、ホオジロ、カワラヒワなどを見ながらゴルフ場の間を進むとキジが出現。綺麗なひにやっとテンションが上がる。ウグイス、ホトトギスの囀りに包まれて草の茂った河原に出る。頼みのオオヨシキリは遠くで声があった。カイツブリの雛もいない。戻り道でホトトギスを見損なった約半数の人達にはちょっと物足りない探鳥会だったかな? (新井 蔵)

6月16日(木) 羽生市 羽生水郷公園

参加: 28名 天気: 曇一時雨

カルガモ カイツブリ キジバト カワウ ゴイサギ アオサギ ダイサギ カッコウ アマツバメ コチドリ カワセミ コゲラ モズ ハシボソガラス ハシブトガラス ヒバリ ツバメ メジロ オオヨシキリ セッカ ムクドリ スズメ ハクセキレイ セグロセキレイ カワラヒワ ホオジロ (26種) (番外: ドバト) ヨシ原でオオヨシキリが鳴き、アオサギの幼鳥数羽、傍にはゴイサギ若鳥もいる。探鳥会初記録のアマツバメが飛び、鳴かずにとまるカッコウをじっくり観察。ツバメの巣に親鳥が盛んにエサを運ぶ。相変わらずヒバリは多いが、コアジサシの姿は見られずコチドリも少なかったのが残念。 (相原修一)

6月18日(土) 『しらこぼと』袋づめの会

ボランティア: 11名

宇野澤晃、榎本秀和、海老原教子、海老原美夫、大坂幸男、小林みどり、佐久間博文、志村佐治、藤掛保司、松村禎夫、三ツ矢正安。

6月19日(日) 群馬県板倉町 渡良瀬遊水地 Young

参加: 90名 天気: 曇時々晴

キジ カルガモ キジバト カワウ サンカノゴイ ヨシゴイ ゴイサギ アオサギ ダイサギ ホトトギス カッコウ トビ カワセミ コゲラ

モズ ハシボソガラス ハシブトガラス シジュウカラ ヒバリ ツバメ ヒヨドリ ウグイス オオセッカ オオヨシキリ コヨシキリ セッカ ムクドリ スズメ ハクセキレイ カワラヒワ ホオジロ (31種) (番外: ドバト) 「埼玉Young探」は第4回を迎えた。今回は「日本野鳥の会 栃木 ユース観察会」との合同開催。梅雨真っ只中、遠方の開催地、と不安材料がいっぱい。しかし不安も一転、晴れ間が出て暑いぐらいの陽気……さらに予想を大きく上回る90名の参加者に主催者側は嬉しい悲鳴。お目当てのコヨシキリ、オオセッカは至近距離で私達を歓迎? まさかのサンカノゴイの飛翔、ヨシゴイは擬態ポーズでむしろその存在をアピール、等々。この日の役者もすべて出揃い、オオヨシキリの賑やかなさえずりも掻き消す程の歓声が絶えず聞こえてくる活気溢れる、まさに“若々しい”探鳥会。 (石塚敬二郎)

6月19日(日) さいたま市 三室地区

参加: 47名 天気: 曇

キジ カルガモ キジバト コチドリ ハシボソガラス ハシブトガラス ヒバリ ツバメ ヒヨドリ メジロ ムクドリ スズメ ハクセキレイ セグロセキレイ カワラヒワ ホオジロ (16種) (番外: ドバト) 猛暑が心配されたが、良い具合に日が陰り、心地良い風に吹かれて気持ちの良い探鳥会となった。出現鳥は少なかったが全員で初夏の三室を満喫。芝川には、早くも巣立ちしたツバメの群れが集結していた。 (浅見 徹)

7月10日(日) 群馬県板倉町 渡良瀬遊水地

参加: 51名 天気: 晴

キジ カルガモ キジバト カワウ ヨシゴイ ササゴイ アオサギ ダイサギ カッコウ コアジサシ ミサゴ トビ コゲラ ハシボソガラス ハシブトガラス シジュウカラ ヒバリ ツバメ ヒヨドリ ウグイス オオセッカ オオヨシキリ コヨシキリ セッカ ムクドリ スズメ カワラヒワ ホオジロ (28種) (番外: ドバト) 暑くなりそうなので、まずは最短コースで第1調節池へ。お目当てはヨシ原の夏鳥たちだが、途中、谷中湖の上をコアジサシが渡っていく。目的地へ着くと早速オオセッカとコヨシキリの元気な声が聞こえてきた。ほっとしていると、ヨシゴイやササゴイも飛んで行った。 (佐野和宏)



● 和白干潟のラムサール条約登録を求める署名を届けました



本年3月号本欄で呼び掛けた福岡市議会議長あての請願署名活動の成果の一部として、和白干潟を守る会(福岡市、山本廣子代表=福岡支部幹事)の会員でもある藤掛保司当会前代表の手元に集まった署名451名分を、埼玉会員有志 20名の九州探鳥旅行の途中、9月16日(金)和白干潟に立ち寄り、山本廣子代表に手渡しました=写真=。翌17日(土)福岡県油山でハチクマの渡り観察中の福岡支部小野仁支部長たちに出会い、そのことを伝えました。

署名活動はこれで終わりではありません。引き続きご協力をお願いします。

● 会員の普及活動

10月1日(土)東京港野鳥公園で開催された新ハイキングクラブ主催「野鳥を観る・知る 第19回」で、小林みどり、工藤洋三、星進が指導。参加者15名。観察20種。「何回か参加するうちに鳥が面白くなってきたので、会員になりました」と、参加者の声。

● ごめんなさいコーナー

前月号9ページ11月27日入間川探鳥会担当「島崎」さんは「島崎」さんの誤り、12ページの新人リーダー「高崎康晃」さんは「高

崎康晃」さん、会員数「10月1日現在」は「10月3日現在」の誤りでした。訂正し、お詫びいたします。

● 会員数は

11月1日現在1,721人。

活動と予定

● 10月の活動

10月8日(土)『しらこぼと』11月号校正(海老原教子、海老原美夫、大坂幸男、小林みどり、藤掛保司、長嶋宏之)。

10月13日(木)「見沼・さぎ山交流ひろば」第3回運営協議会(さいたま市さぎ山記念館)に出席。写真コンクールの副賞(野鳥観察ハンディ図鑑『新・山野の鳥』『新・水辺の鳥』各7冊)提供など(小林みどり)。

10月16日(日)役員会(司会:浅見徹、各部の報告・1~4月の行事予定・その他)。

10月17日(月)『野鳥』誌を購読しない会員向け、『しらこぼと』11月号を郵便局から発送(事務局)。

● 12月の予定

12月3日(土)編集部会。普及部会。  
12月10日(土)1月号校正(午後4時から)。  
12月17日(土)袋づめの会(午後3時から)。  
12月18日(日)役員会(午後4時から)。

編集後記

このところ、県内への珍鳥の飛来が相次いでいる。9月のアネハヅルにミナミクイナ。10月のキマユホオジロにモリムシクイ。この号が出るころには、さらに追加されているかも知れない。これは、鳥を見る目が増えたため? それとも、気候変動のせい? 後者とすると素直に喜んでいられない。(浅見)

しらこぼと 2016年12月号(第392号) 定価 200円(会員の購読料は会費に含まれます)  
 発行人 海老原美夫 編集発行 日本野鳥の会埼玉 (〒330-0064 さいたま市浦和区岸町4丁目26番8号 プリムローズ岸町107号) TEL 048-832-4062 FAX 048-825-0460  
 郵便振替 00190-3-121130 http://www.wbsj-saitama.org 事務局 office@wbsj-saitama.org  
 編集部への原稿 yamabezuku@hotmail.com 編集部への野鳥情報 toridayori@hotmail.com  
 住所変更退会などの連絡先は 〒141-0031 品川区西五反田3丁目9番23号 丸和ビル  
 (公財)日本野鳥の会会員室 TEL03-5436-2630 FAX03-5436-2635 gyomu@wbsj.org  
 本誌掲載記事はホームページに転載される事があります。本誌またはホームページからの無断転載は、かたくお断りします。 印刷 関東図書株式会社